

平成22年度事業実績書

団体名	嘉川地域づくり協議会
-----	------------

1 総括

交付金によって、数年前からの地域課題が着々と進行し解決できつつある。又、安心・安全のまちづくりもさることながら、埋もれた歴史・文化の掘り起こしや、健康生活を助長するスポーツ振興等を計ることができることは喜ばしい限りである。
 今後は、更に新しい課題や地域住民が意欲をもって取り組める創造性ある課題を求めながら地域づくりを展開することのできる企画を進めるよう努めていきたい。

2 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	2,205,626
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、消耗品費、補助金等の振り込み手数料他</p> <p>(成果・評価) 地区社会福祉協議会事務等を兼ねての人数であり、地域づくり協議会事務局運営に適切な人数である。</p> <p>(今後に向けて) 将来の自立した交付金事業運営に向けて、事務局のみでの事務処理について整理していく。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域づくり協議会広報
事業費	325,500
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり協議会に関する各種の情報の提供、地区内団体の活動の紹介、地域交流センターからの情報等を掲載した広報紙を9月と3月の2回作成し、自治会の協力を得て全戸に配布した。</p> <p>(実施時期) 委員会開催 6月25日、29日、7月2日、27日、8月18日、1月12日、2月25日 発行 9月1日、3月31日 年2回</p> <p>(参加人数) 事務局及び社会部会 原稿執筆 延べ26人、編集者7人</p> <p>(成果) 広報紙を通して、地域づくり協議会の活動の様子を知らせ、事業への関心を高めることができ良かった。</p> <p>(評価) 活動を紹介するという事では一定の成果が出たと思う。しかし、今年度は地区住民に活動を周知するために一方的に発信する紙面づくりになってしまった。</p> <p>(今後に向けて) もう少し地区住民の意見や投稿を取り入れた、双方向の内容にしたい。</p>

事業名	あいさつ運動の推進
事業費	24,200
事業概要	<p>(実施内容) あいさつ運動: 嘉川全地区並びに小、中学校生徒を対象に、交通立哨、見守り活動等の場を活用し、他の組織、団体と協力して行った。 あいさつ標語: 小中学校の生徒及び地区民から標語を公募。その中から標語のステッカーを作製し表示した。 委員会開催: 6月24日、10月19日、27日 延べ人数21名</p> <p>(実施時期) 標語募集 9月 標語選定とステッカー作製 10月 表彰式、表示場所依頼と表示実施 11月 あいさつ運動 常時 委員会開催 6月、10月</p> <p>(参加人数) 自治会、学校、地区社協、婦人会、その他関連団体 延べ400名</p> <p>(成果) 標語応募数 286編(内 最優秀賞 5名、優秀賞 9名) ・表彰式を嘉川文化祭時に行い、多くの人の関心を集めた。 ・ステッカーを各自治会掲示板に展示。その他嘉川地域交流センター、学校3校、銀行、郵便局、農協、「なごみの家」等に掲示し、地区民にあいさつ運動、標語の周知を図ることが出来た。</p> <p>(評価) 常時「あいさつ運動」には取り組んでいるが、特に今年度は標語を募集したことで、募集の段階からステッカー掲示後まで一貫して地区民の関心を喚起した。</p> <p>(今後に向けて) 「あいさつ運動」の一層の浸透と運動の効果を上げるために、関係団体の話し合いを行い、連携を深めて生きたい。次年度は標語に変わる事業を行いたい。</p>

事業名	郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備
事業費	465,223
事業概要	<p>(実施内容) 既存の遺跡・史跡に加え、新たな遺跡等の発掘を行い、保存資料を作成し、現地表示のための標識を作り建植した。 現地では、自治会・子ども会の協力を得て実施。 5ヵ年事業の内、初年度の22年度分として45箇所の現地表示を行った。</p> <p>(実施時期) 7月より資料作成開始。11月より標識の加工・塗装を行い、2月より春休みに掛けて子どもたちの余暇を活用して実施した。 委員会開催:6月24日、27日、8月3日、25日、10月21日、11月25日 建植: 2/4岡、2/13東本郷、2/15相原、2/19上高根、2/22中田畑、福岡、2/26中市、2/27干見折、深溝東西、3/6原条西、3/12原、岡屋、3/13高見、今井、3/27上嘉川、西本郷 表示した史跡・遺跡 35箇所</p> <p>(参加人数) 建植:自治会 98人、子ども 186人 役員等 延べ27人 委員会 実行委員(協議会役員、地区住民)延べ44人</p> <p>(成果) 多くに自治会では、忘れ去られたり破壊されかかった史跡の存在に気づき、この活動の趣旨を理解し、子どもたちを取り込み積極的な取り組みが見られた。 また、自治会館の和やかな連携作業も見られたのは想定外の嬉しい出来事であった。</p> <p>(評価) 次世代を担う地区の子どもたちが遺跡に直接触れる機会を得て、見ていたものから何かを感じたのではと思う。 また、標識付近を訪れる人も多くなり、整備清掃が行われることが期待できる。</p> <p>(今後に向けて) スタートが遅れたため自治会の作業が年度末に集中することになり迷惑を掛けた事を反省し、平成23年度は子ども会の作業時期を冬休みから余裕を持って実施できるよう取り計らう。</p>

事業名	食生活改善と推進
事業費	35,563
事業概要	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生料理教室: 弁当作りに挑戦(食育のための料理教室) ・旬の野菜の活用: 自家栽培(旬)の野菜活用メニューの考案、試作。 ・男性料理教室 : 嘉川の特産物活用(嘉川産の酒かすを料理に使用した) <p>(実施時期) ・中学生料理教室 8月25日 ・旬の野菜の活用 10月5日 ・男性料理教室 2月18日</p> <p>(参加人数) ・中学生料理教室 24人 ・旬の野菜の活用 11人 ・男性料理教室 25人</p> <p>(成果) 地産地消での食の安全性、安心が理解された。 中学生にチラシ等を使い、地産地消の啓発。10代の食生活の大切さや、適正なカロリー摂取等がわかった。 一時的に集中して採れる自家栽培の野菜活用メニューは、同じ調理法になりがちなので、色々と喜ばれた。 嘉川の郷土料理の開発として、ふるさと嘉川の酒「嘉穂の郷」の誕生を受けた嘉川産の酒かすを料理に取り入れ「嘉川の汁」として調理したところ、具だくさんの汁が好評だった。</p> <p>(評価) もう少し修正の必要があるが、嘉川の汁(鍋)の秋冬バージョンができてよかった。</p> <p>(今後に向けて) 地産地消をより多くの方に広めて行きたい。 秋冬バージョンの修正と、春夏バージョンの考案と紹介をしていきたい。</p>

事業名	高齢者生きがいセンター10周年記念事業
事業費	150,000
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>「なごみの家」の開設10周年を記念して、当センターを利用している諸団体の研修成果を、野外舞台や室内展示で発表するとともに、山口県指定無形文化財である鷺流狂言の上演と子どもたちへの指導が行われた。 また室内では、読書クラブによる創作紙芝居や有志によるマジック、広場では近隣自治会員や参加者による盆踊り、老人クラブと子どもたちによる餅つき、その他婦人会、まちづくり委員会、みおつくしの会の売店などが行われた。</p> <p>(実施時期) イベント 9月23日(前日準備、翌日片付け) 実施委員会 6月8日、7月13日、8月24日</p> <p>(参加人数) 当日 イベント来場者 延べ約450人 ボランティアサークル「きずな」10人 その他(婦人会、まちづくり委員会、みおつくしの会、近隣住民等) 実施委員会 延べ 52人</p> <p>(成果) 地域住民の老人から子どもまで一体となって記念事業を盛り上げることができた。</p> <p>(評価) 記念事業を通じて、センターの活動実態を地域に発信することができ、有意義であった。</p> <p>(今後に向けて) 今回は10周年記念事業であったが、今後も機会があればこのような企画を実施したい。</p>

事業名	登山コース、ハイキングコースの標示と整備
事業費	163,699
事業概要	<p>(実施内容) 今年度は禅定寺山登山コースの整備と標示活動を行うこととし、2回にわたり整備内容の検討会を行い、最初の現地調査で、登山コースの概略を策定し、その後コース内の倒木の除去と登山道の一部整備、案内標識の一部を設置した。</p> <p>(実施時期) 検討会 4月5日、7月15日 調査 8月17日 作業 1月18日、3月17日</p> <p>(参加人数) 地区住民有志等 延べ55人</p> <p>(成果) 登山道整備が本格的に進められる体制が整った。</p> <p>(評価) 失われていた登山道を再開するめどが立った。</p> <p>(今後に向けて) 平成23年度、登山道を再開し、嘉川地域のほとんどが見渡せる禅定寺山登山道により、地域意識を深め、住民間の交流とハイキングとして健康増進に寄与することを目指す。</p>

事業名	盆踊り
事業費	69,015
事業概要	<p>(実施内容) ①まず盆踊りの実態調査を行った。その結果回答のあった30自治会の内盆踊りを行っているのは11箇所、踊りの内容は「炭坑節」「大内のお殿様」が8箇所、「嘉川音頭」4箇所、「白川踊り」4箇所とおおむね全国的なものや、当地に関係するものだが、「白川踊り」は福島県白河地方の盆踊りである。これは戊辰の役、会津攻め白川口の戦いに長州が出兵したことに端を発し、白川地方の踊りが現在も山口県下各地で踊り継がれ、以前は嘉川でも全域で踊られていた。しかしながら、現状では滅びるおそれがあるため、現在の踊りを記録することとし、ビデオで撮影しDVD化、また口説き(歌)を録音、記録した。 ②嘉川の地域の行事や出来事として嘉川文化祭及び交流センター旧館の解体を撮影した。</p> <p>(実施時期) ①協議 6月24日、7月16日、9月13日、11月18日 撮影等 7月24日、8月7日、13日、14日 ②文化祭 11月3日、旧館解体12月～1月</p> <p>(参加人数) ①協議 延べ30人、盆踊り(白川踊り)4自治会約150人 ②撮影2人</p> <p>(成果) ①地域の盆踊りの実態と「白川踊り」の由来及び口説きの歌詞には白川市で歌われている口説きと同じ歌詞があることがわかった。なお、当地での踊り方には2種類ある。 ②交流センターの建替えの時であり「今」を記録できた。</p> <p>(評価) ①残念ながら現状のままでは「白川踊り」が嘉川からなくなるおそれがあり、保存活動は必要である。 ②交流センターの建替えの時であり、記録を残すのは現在しかなく大事なことである。</p> <p>(今後に向けて) 歴史の検証としても「白川踊り」の存続を図る。また、「嘉川ふるさと音頭」「ふるさと嘉川」についても、現状ではあまり浸透しているとは言い難いので活性を図る。</p>

(3) 地域福祉

事業名	見守りグループ活動
事業費	10,000
事業概要	<p>(実施内容) 県立大学のロバート准教授を招き研修講座を開催</p> <p>(実施時期) 11月26日</p> <p>(参加人数) 小学校児童の見守りにあたっている高齢者や一般の方 約90人</p> <p>(成果) 「住民どうしのつながり」をテーマに研修講座を開催し、多数の参加があった。 「向こう三軒両隣」のつながりは、日本の大切な文化であることも再確認できた。</p> <p>(評価) 地域の中でつながりがなぜ大切か、どうつくっていくかなど考えを深めることができた。</p> <p>(今後に向けて) 自治会現場に日常的な見守りをどうするか、高齢者どうしのつながりづくりをどう進めるか等が課題。 今年度実施できなかった福祉員定例会における研修講座は来年度実施する。</p>

事業名	生き生きサロン活動の充実
事業費	99,000
事業概要	<p>(実施内容) 各サロン代表者会議の開催(情報交換・交流活動)と、各サロンの運営、活動の充実のため、講座の講師料の支援をした。 また、各サロンからの報告により、3月に活動実態の集約を行った。</p> <p>(実施時期) ・ 各サロン代表者会議 11月12日 ・ 各サロンの活動(9箇所) 年間6回から12回 7月から2月の間の活動に対し、各サロンにつき1回講師料などの費用を負担した。</p> <p>(参加人数) ・代表者会議: 各サロン代表、民生児童委員、地区社協サロン部会委員、健康福祉部会委員、市社協 計48名 ・各サロンの活動: 各サロンとも20人程度/1回 年間6回から12回開催 延べ1800人程度参加</p> <p>(成果) 各サロンの代表者会議で、運営の問題点、改善点、特色ある活動の情報を交換し合うことで、それぞれの活動にとって大きな刺激になったと思う。また、年間決められた計画に従っての活動と同時に、会員に喜んでもらう活動の工夫が良くわかった。</p> <p>(評価) サロン間の交流から自分のサロンの活動を見直すことができた。 活動のいっそうの充実を目指す手がかりとなった。</p> <p>(今後に向けて) 各サロンの活動を支える手立てはこれからも続けたい。 新しいサロンの立ち上げを勧誘すると同時に、各自治会現場からの声に期待したい。</p>

事業名	子育て支援組織活動と支援
事業費	40,000
事業概要	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 川西ちびっ子大集合(中学生と幼児、母親との交流による「いのちの学習」)を3回実施。 川西ネバーランド(乳幼児と保護者、ボランティア組織「きずな」の交流、ふれあい活動)を2回実施。 <p>(実施時期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 川西ちびっ子大集合 11月8日、18日、12月2日 計3回 川西ネバーランド 7月22日、8月5日 計2回 <p>(参加人数) 地域在住の子育て中の保護者とその子ども、中高生</p> <ul style="list-style-type: none"> 川西ちびっ子大集合 3回 延べ237人 川西ネバーランド 2回 延べ98人 <p>(成果)</p> <p>地域の思いに支えられた「いのちの学習」として、中学生たちが「いのちに尊さ、そのかがやき」に目を向けてくれる活動になっている。</p> <p>(評価)</p> <p>地域の多くのボランティアによって支えられている活動として、中学校と連携を図りながらこれからも充実を目指したい。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>多くのお母さん方の理解と協力をいただいている今の状況が継続できるよう支えていきたい。</p>

事業名	高齢者活動の推進
事業費	120,000
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>高齢者のクラブ活動(スポーツ)の促進を目的に、健康増進、友愛活動を中心とした各単位老人クラブが企画するスポーツ活動に伴う消耗品等の経費の支援をした。</p> <p>(実施時期) 単位組織の実情に合わせて随時実施(9月～3月)</p> <p>(参加人数)</p> <p>各単位老人クラブ(11クラブ)、嘉川老連全体行事 合計約400人</p> <p>(成果)</p> <p>各単位会でそれぞれの実情にあった内容(座ったままできる「輪投げ」など)を工夫された。</p> <p>高齢者が体を動かして楽しんでおられる姿が特に印象的で、子ども会や生き生きサロンなどの集まりでも、輪投げやペタンク等の軽スポーツを行う所が増えてきた。</p> <p>(評価)</p> <p>高齢者同士のつながりも深まり、楽しんで取り組むということが何よりも大切なことが実感できた。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>老人クラブの加入者を増やすこと。みんなが老人クラブの意味を考え「自分も」というように動いていただく事が必要で、スポーツ活動に限らず多くの面で単位会の活動をささえていく事を検討する。</p>

事業名	生涯スポーツの推進
事業費	200,000
事業概要	<p>(実施内容) 本年度はニュースポーツの用具であるカローリングを購入し、地域の子どもから高齢者までの幅広い範囲に紹介した。</p> <p>(実施時期) 年間随時に地域の団体や住民組織の希望に応じ用具を貸し出した。</p> <p>(参加人数) 地域の老人クラブや子ども会等を含めて各組織から多数の利用があった。 (延べ約700人)</p> <p>(成果) 子どもも高齢者も障害者もプレーが可能で、スポーツの楽しさ、仲間と共に協力することの大事さが実感できたと思われる。</p> <p>(評価) 当初目的である「スポーツによる地域住民の健康づくりに役立てる」ということは達成できたと思う。</p> <p>(今後に向けて) この競技を通して、ニュースポーツの楽しさを多くの人に体感できるように、さらに各組織を通じて普及させていきたい。 また、今年度購入し紹介したカローリングは利用者も多いことから、用具の追加購入を行いたい。</p>

事業名	福祉活動計画見直しと重点計画
事業費	175,000
事業概要	<p>(実施内容) ・地域福祉活動計画を各戸配布し、住民の方々へ周知を図った。 ・9月、実行委員会を市社協と合同で発足。重点項目と担当部員を決定。 ・10月、重点項目ごとの事業計画を立案した。 (見守り活動の推進、世代間交流の推進、ボランティア活動の推進)</p> <p>(実施時期) 実行委員会 9月、10月、11月、12月 計4回 福祉活動計画全戸配布 4月</p> <p>(参加人数) 実行委員会 4回 延べ 100人</p> <p>(成果) 全戸へ配布できたことで、これから5年間の活動内容に関心を持っていただくことができた。 中でも大切な重点項目について、点検のための実行委員会を発足させることができた。</p> <p>(評価) 地区住民の方々とのつながり、接点ができ、数年後の住民座談会につなげることができればと思う。 多くの組織、団体がそれぞれの立場で進めている福祉活動を見直す手がかりができた。</p> <p>(今後に向けて) 「見守り活動」「世代間の交流活動」「ボランティア活動の活性化」の重点項目をこれからも充実させていきたい。</p>

事業名	ボランティア活動の研修と推進
事業費	251,659
事業概要	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生ボランティア「きずな」の平成22年度発会式及び研修会を実施 ・地域住民の方々の、ボランティア活動への意識を高めてもらうための「輪づくり便り特集号」(ボランティア団体の現状・課題の紹介)の編集、発行、各戸配布。 <p>(実施時期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きずな」平成22年度入会式及びボランティア研修会 6月22日 ・輪づくり便り各戸配布 3月 <p>(参加人数) ・「きずな」研修会 55人 ・輪づくり発行 27人</p> <p>(成果)</p> <p>各ボランティア組織、団体の活動理念、活動の状況、これからの課題をまとめたものを各戸に配布できた。 また地域ボランティア「きずな」の活動を地域全体で知っていただくことができた。</p> <p>(評価)</p> <p>上記のボランティアの状況等を各戸に配布したことで、実情への理解を深めることができた。 ボランティア活動への意識調査まで進まなかったことが課題として残る。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>各ボランティア組織、団体の活動の支援、後継者をどう育てるかということに引き続き取り組みたい。</p>

(4)安心・安全

事業名	反射鏡設置事業
事業費	0
事業概要	<p>(実施内容) 危険箇所への反射鏡の設置に対して新設5万円、補修2万5千円を上限に設置費の補助をすることで要綱等を定めた。</p> <p>(実施時期) (当初予定)6月と9月を締め切りとして要望を受け付ける。その後対象を決定し補助金を交付。</p> <p>(参加人数) (当初予定)建設振興部会を中心に要望を審査。設置は要望関係者により処理。</p> <p>(成果) 当補助金での対応無し。 (今年度設置要望のあった箇所は公道の関係箇所のため)</p> <p>(評価) 今年度は結果として対応が無かったが市の補助制度からの移行であり、実績に関わらず維持していくべきと考える。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>予算額について、適正額の検討を行いたい。</p>

事業名	高齢者ドライバー1日ドック
事業費	20,000
事業概要	<p>(実施内容) 高齢者を対象とした県交通センターでの体験学習による安全運転学習を実施</p> <p>(実施時期) 11月17日</p> <p>(参加人数) 各自治会から合計30人</p> <p>(成果) 研修は実際に起こり得る事故等をモニターの画面を通じて臨場感あふれる模擬体験ができ、事故防止はもちろんのこと更なる安全運転に努めるべきことを再確認した。</p> <p>(評価) きわめて実効性の高い有意義な研修であった。</p> <p>(今後に向けて) 高齢者の交通事故が多発している現状に鑑み、交通安全研修の強化が必要不可欠である。</p>

事業名	児童・生徒登下校時の安全確保
事業費	73,800
事業概要	<p>(実施内容) 通学路の点検、児童の登下校時の見守り活動を実施した。見守り活動は、老人クラブを主体にPTAや一般ボランティアで実施。</p> <p>(実施時期) 年間を通じて</p> <p>(参加人数) 自治会、老人クラブ、PTA等 約100名</p> <p>(成果) 児童・生徒の通学時の安全確保に尽力できた事とともに、地域住民が平素から意識して子ども達を見るようになり、自然に子供たちとの交流も芽生え、地域の子どもたちは地域で育てるという意識も醸成されつつある。</p> <p>(評価) 一定の服装の着用により、地域住民や第三者に見守り活動を印象付けている。</p> <p>(今後に向けて) 今年度予定していたが実施できなかった安全マップの見直し及び作成、また、ブルゾンの整備等が望まれる。 見守り活動の継続及びなお一層の充実を図るためには活動の主体を老人クラブからPTAや一般ボランティアに移していくことが望ましい。(老人クラブ員の高齢化や老人クラブのない自治会も多い)</p>

事業名	地域防災活動
事業費	39,900
事業概要	<p>(実施内容) 災害や地域に応じた自主防災や組織の在り方について講演会を実施した。 自主防災組織立ち上げのための規定(案)の検討に着手。 防災資材整備の一環として、新型の防災用土嚢(水を吸収し15kgになるもの)50袋を、浸水被害が多く、希望する自治会一つに試験的に整備。</p> <p>(実施時期) 講演会 2月24日、防災資材整備3月</p> <p>(参加人数) 講演会 70人</p> <p>(成果) 講演は、自主防災の必要性の認識を深める事ができた。また防災用土嚢は、軽量なので取り扱いが楽であり、再使用ができるので経済的である。</p> <p>(評価) 講演は、自主防災組織の立ち上げのきっかけになるものと期待できる。防災用土嚢は、浸水にすばやく対応でき安心である。</p> <p>(今後に向けて) 自主防災についての認識をより深めるための講演等を進めるとともに、防災設備、資機材の整備を図る必要がある。一部予算は繰り越して実施したい。</p>

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	1,570,000
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の補修工事等に対する補助 (実施時期) 6月と9月を締め切りとして要望を受け付ける。その後対象を決定し補助金を交付。 (参加人数) 建設振興部会を中心に要望を審査。工事の実施は要望関係者により処理。 (成果) 道路関係:4件 1,570千円 (評価) 同上 (今後に向けて) 特定の地区に偏らず、広く住民に利用していただけるように広報、周知を行う。

事業名	土木工事(単市土地改良)
事業費	2,382,000
事業概要	(実施内容) 農道や農業用水路の改良工事等に対する補助 (実施時期) 6月と9月を締め切りとして要望を受け付ける。その後対象を決定し (参加人数) 建設振興部会を中心に要望を審査。工事の実施は要望関係者により処理。 (成果) 水路関係:5件 2,382千円 (評価) 同上 (今後に向けて) 特定の地区に偏らず、広く住民に利用していただけるように広報、周知を行う。

事業名	土木工事(法定外公共物原材料支給上乘せ)
事業費	0
事業概要	(実施内容) (当初予定)市が原材料支給を行う場合で、修繕規模が大きい等、支給量に不足が生じる場合に上乘せ支給を行う。 (実施時期) 案件の発生状況による (参加人数) 補修実施者 (成果) 対象事案が有ったが、前提となる市の原材料支給の予算が尽きたため未実施となった。 (評価) 需要は有り有用な制度と考える (今後に向けて) 要望により適切に実施

事業名	道路・河川・海岸の清掃活動、地域環境美化活動の推進
事業費	199,800
事業概要	<p>(実施内容) 嘉川清掃の日実施について2回の準備競技をおお無い、例年通り国道2号側道の清掃活動を行った。 また、河口尻、海岸線の見回り・点検と必要箇所の清掃については、地域関係者が随時実施した。</p> <p>(実施時期) 準備協議 8月23日、9月9日 嘉川清掃の日 9月26日</p> <p>(参加人数) 準備・協議 26人 嘉川清掃の日 嘉川地区環境美化推進事業委員会、地区社協、自治会、老人クラブ、婦人会、まちづくり委員会、子ども会等 191人</p> <p>(成果) 嘉川清掃の日開始から3回目を迎え、年々活発になっており、充実してきている。</p> <p>(評価) 地域に定着し、住民意識が高まってきている。</p> <p>(今後に向けて) 平成23年度は、山口国体等が開催されることもあり、例年に増して「美しい町嘉川」とするため全力で取り組む。</p>

事業名	花いっぱい運動の推進
事業費	48,270
事業概要	<p>(実施内容) 花いっぱい運動を推進するため、各自治会、子ども会、老人クラブ等へ花の苗などを配布して育ててもらい花壇の充実を図った。</p> <p>(実施時期) 6月から12月</p> <p>(参加人数) 延べ100人</p> <p>(成果) プランターや肥料、花の苗などを購入、配布し、地域で花を育ててもらい、地域の環境美化に努めた。地域の環境美化の一助になったと思う。</p> <p>(評価) 今年は、夏の炎天により一部枯死したのもあったが、概ね計画通り実施できた。</p> <p>(今後に向けて) 「国体花いっぱい」を契機に、さらに花にあふれる地域であるように運動を進める。</p>

事業名	桜公園の建設推進
事業費	10,546
事業概要	<p>(実施内容) 事業計画に基づいて、公園化した場所の中で希望のあった箇所に、八重桜など10本と添え木などの資材を提供し、植樹してもらった。 他にも希望があり、翌年度事業に向けて現在樹種等を検討中。</p> <p>(実施時期) 植樹作業 3月14日</p> <p>(参加人数) 自治会員等8人</p> <p>(成果) 地区住民の憩いの場としての環境が整った。</p> <p>(評価) 今回配布した地域では、植樹した桜を育てて、花を咲かせるために地域住民が一体となって協力する体制ができた。他にも要望があり、この体制を広げていくことができると思う。</p> <p>(今後に向けて) 桜などの植樹は、環境美化のみならず地域住民の安らぎの場ともなり、なお一層の推進を図る。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	子どもと高齢者の世代間交流事業の推進
事業費	0
事業概要	<p>(実施内容) (当初予定) 敬老の日を中心とした各生き生きサロンの活動で、子どもを加えた交流活動の企画を推進していただく。「嘉川の昔ばなし」作製の一助にもする) いきいきサロン代表者会議で提案し、個別の計画を立案。この際、「昔ばなし」の計画についても話をしてもらい、その地区にまつわる話を伝えてもらう。</p> <p>(実施時期) (当初予定)8月から12月(各サロンの年間の計画に織り込む)</p> <p>(参加人数) 0人</p> <p>(成果) 調整に時間を要し未実施(一部は昔ばなしの伝承の中で実施)</p> <p>(評価) 同上</p> <p>(今後に向けて) 翌年度再度事業計上</p>

事業名	子どもと高齢者世代間交流による昔話の伝承
事業費	112,040
事業概要	<p>(実施内容) 小学生、中学生が地域のお年寄りに直接話を聞いたり、自分が調べたりして地域に伝わる歴史や言い伝え、風習などの昔からの話を集めた。これを元に、自分の題材を決め、本にするための文章(原稿)作りに取り組んだ。</p> <p>(実施時期) 8月に参加者集会(発会式) 以降2ヶ月に1回研修会を実施。</p> <p>(参加人数) 小学生、中学生 延べ70人 他に実行委員20人、高齢者等地区住民</p> <p>(成果) 取り掛かりは時間を要したが、題材を決めた子供は積極的に活動ができるようになった。 地域の高齢者などから話題の提供も多く、「世代間交流」もできた。</p> <p>(評価) 子供たちにとって少し難しい活動であるが、助言をしながらやり遂げさせたい。 高齢者との交流もでき、この活動の大切さが改めて思われる。 実行委員としてとして多数の積極的な参加があり、地域住民の交流や組織作りにも役立った。</p> <p>(今後に向けて) 活動の参加者をもっと増やす必要がある 一人ひとりの子供たちのふるさとへの思いが深まるように支えて生きたい。 一部予算は繰り越して実施したい。</p>

事業名	地域産品創出事業
事業費	150,000
事業概要	<p>(実施内容) 「嘉川でできた米を使って、オリジナルのお酒を造る。」事を目指し、醸造は業者をお願いしたが、地元の田んぼをお借りし地域住民の方々と田植えから稲刈りまでを実施。新酒の名前も住民から募り「嘉穂の郷」と決定。2月には新酒発表会を行い、3月には地域の方に広く購入していただいた。</p> <p>(実施時期) ・田植え 6月6日 ・新酒ネーミング募集 7月 ・ネーミング選考会、新酒検討会 8月20日 ・稲刈り 9月25日 ・新酒発表会 2月19日</p> <p>(参加人数) 田植え59人 稲刈り42人 新酒発表会30人 新酒ネーミング募集 応募58通</p> <p>(成果) 「嘉穂の郷」が出来上がるまでの過程(田植え、稲刈り、ネーミング募集、ラベルデザイン等)で沢山の協力を得ることができ、3月1日に発売することができた。</p> <p>(評価) 地域でできたお酒を沢山の方に味わっていただけることはありがたいことだと思う。古くから酒造りが栄えていた風土を感じることができた。</p> <p>(今後に向けて) 嘉川という地域に興味を持ち、愛着を持てるように人との交流も大切にして、嘉穂の郷を育てて生きたい。</p>

事業名	古記録・古行事・古写真の収集並びに編集
事業費	14,700
事業概要	<p>(実施内容) 広報紙・ロコミで呼びかけ情報収集。 古い文化物に関する記録や写真等の収集、資料の整理、保存のためのデータ化を行った。嘉川文化祭で一部(周防大橋建設やSLの写真等)展示。 昭和53年に記録された、嘉川地区における1年間の風物記録8ミリフィルムをDVDに転写し保存。映写会を3回地域交流センターで実施した。延べ人数70名が鑑賞。</p> <p>(実施時期) 情報紙により情報提供の呼びかけ 9月 嘉川文化祭で一部展示 11月 8ミリフィルムをDVDに転写 11月 DVD映写会実施 12月、1月 収集、保存整理作業 9月～3月 委員会開催 6月、10月</p> <p>(参加人数) 収集協力及び映写会参加 一般地区民、地区団体 述べ100人 委員会開催(6月24日、10月27日) 延べ15人</p> <p>(成果) 集まった資料の一部を嘉川文化祭で展示。またDVDの映写会を3団体を対象に実施。30年前の嘉川地区の様子を知ることが出来た。 また、すでに消え建造物の貴重な写真等をデータ化し記録として残した。</p> <p>(評価) 今後早晩消滅が予想された、地区民にとって掛け替えのない貴重な資料を一部保存することが出来た。またその成果を地区民に表示することで活動への理解を深める効果があった。</p> <p>(今後に向けて) DVDの映写を通して活動の理解と関心を高め、地区民の積極的な情報提供へと繋がりたい。 研修等を行い文化祭での展示で資料を説明する人材を確保する。</p>

事業名	紙しばい創出
事業費	30,000
事業概要	<p>(実施内容) 地区の民話「みょうがのやど」を基に紙しばいの作製。 作製した紙芝居を「なごみの家」開設10周年記念イベント、嘉川文化祭で公演した。 また、嘉川小学校と興進小学校では授業の一環として生徒に公演した。</p> <p>(実施時期) 打ち合わせ、紙芝居製作 5月～8月 公演の練習と準備 9月～2月 公演「なごみの家」 9月23日、嘉川文化祭 11月3日 嘉川小学校2月22日、興進小学校2月25日</p> <p>(参加人数) 作成 述べ60人 公演(観覧) 地区住民、小中学生、保育園児 270人</p> <p>(成果) 古くから伝わる郷土の民話を「紙しばい」という馴染みやすいものにし、公演することにより、地域の子ども達をはじめ皆さんに知ってもらうことができた。</p> <p>(評価) 郷土の民話が次の世代に語り継がれることで愛郷心を育て、世代間の交流を深める一助になったと思う。</p> <p>(今後に向けて) 「子どもと高齢者世代間交流による昔ばなしの伝承事業」等により嘉川の昔ばなしが発掘され、それが紙しばいや影絵にすることが可能なものがあればそれを題材に検討したい。 準備・練習のために可成りのスペースの専用場所が必要であるが、平成23年度は地域交流センターの建替えのため活動を休止せざるを得ない。 平成24年度からは、新しい紙芝居製作に取りかかりたい。</p>

8,985,541

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加者数等の項目で概要を記載してください。